

# 浅草寺病院だより

2020年  
【春号】

2020年4月10日発行  
社会福祉法人浅草寺病院  
東京都台東区浅草2-30-17  
☎ 03-3841-3330

## 理念

観音さまの大慈悲のみこころにそって、  
思いやりの精神のもとにあたためた医療を提供します。



## 内科の変遷 =赴任から現在まで=

内科部長 澤辺 暁人

内科部長の澤辺と申します。当院に赴任して早6年が経ち、あと半年ほどで丸7年になります。私が赴任しました平成25年と現在で内科の体制はかなり変化を遂げてきております。私が赴任後まもなく黒田病院長体制となり、内科常勤医は6名(一般病棟担当医5名、療養病棟担当医1名)でありました。当時の常勤医師の専門領域は呼吸器、循環器、消化器でした。

平成31年4月の新任医師3名入職を経て、現在は病院長を除き常勤医9名(一般病棟担当医8名、療養病棟担当医1名)と拡大してきております。専門領域は呼吸器、消化器、脳神経、膠原病などとなっております。

次に救急受入体制についてですが、赴任当初は救急当番医制がなく患者様受け入れの窓口は病院長でした。その後よりスムーズな救急車や紹介入院の受け入れを行うために救急当番医制とし、曜日と時間帯で受け入れ窓口を決めることとしました。

また、これまで午後の受付終了後は血液検査や放射線画像検査などが行えない状況でしたが、現在は20時まで検査を行える体制となっております。当科として少しでも多くの患者様を受け入れられるよう努力しておりますが、専門性の高い検査や治療を行える体制にはないため、どうしても受け入れが難しいと判断されるケースもあり、地域の先生方に御迷惑をおかけすることもあるかもしれません。

しかしそのような中であっても、地域医療への貢献を第一に考え可能な限りの患者様受け入れができるようこれからも努力してまいりますので、今後とも何卒宜しくお願い致します。





近年、膨らむ医療費が国の財政を圧迫するとの議論が続いています。そこにこの度の新型コロナウイルス(COVID-19)大流行です。この事態は日本のみならず世界の経済危機を招いております。今後の医療費削減も喫緊の課題です。

先進医療費の高騰は別問題として、医療費の節約ができる場所を探しますと、身の回りには意外な盲点があることに気づかされます。ジェネリック医薬品なら医療費が減ると、ジェネリック医薬品会社提供でコマーシャルが流れ、健康保険組合や市区町村役所からは郵便物が届きます。ジェネリック医薬品の他に、身近に医療費削減ができる方法があります。

ご自宅にのみ忘れ、のみ残し薬はありませんか？お薬は1錠で何十円から何百円、何千円(まれに万単位)します。皆様が薬局でお支払いの金額の3倍から10倍もします。従ってのみ忘れ、のみ残し薬はかなりの金額になります。

患者さんの中には前回の処方薬の余りを「消費期限切れ」だとして毎回ゴミに出す方がおられます。前回処方の残薬はまだまだ安心して服用できます。主治医から服薬中止指示がない限り、余らせず捨てずに内服継続をしましょう。

大量に余った時は主治医に伝え、次の処方を減らしてもらいましょう。また現在不要な“置き薬”(風邪をひいたら、熱が出たらといった時の薬)をたびたびもらうことは避けましょう。“置き薬”は意外に自宅にたまり、使わず捨てるのがままあります。そういった努力でも医療費はかなり抑えられるはずです。今一度、自宅にのみ忘れ、のみ残し、また置き薬化した薬はないか確認しましょう。

## 現在の病院薬剤師の役割



## 薬剤科

薬剤師の仕事場と言えば、街の薬局やドラッグストアを思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。2018年の厚生労働省の調査によりますと、薬局で従事する薬剤師は約18万人であるのに対し、病院などの医療施設に従事する薬剤師は6万人ほどとのことですので、実際に病院薬剤師が少ないことがわかります。

そんな少ない病院薬剤師ではありますが、病院内における役割は劇的に変化しています。調剤所にこもりがちで、医師の処方箋に基づき薬剤を準備するだけの薬剤師像はもうありません。薬のプロフェッショナルとして他職種と協働し、医薬品を安全かつ適正に使用して医療の質向上に貢献しています。

当院でも入院患者様一人一人に担当薬剤師がおり、最適な薬物療法が行われるよう提案、確認を行っております。3階病棟ナースステーション内には薬剤師の席を設けており、医師や看護師などと常にコミュニケーションが取れるようにしています。また、病院全体に関わるような感染対策、医療安全といった各種委員会への参加を通じて、チーム医療の一員としても活動しています。

病院薬剤師は患者様から未だに「薬剤師さん」と呼ばれることが多いと感じています。当薬剤科では病院理念にもある「あたたかい医療」を提供し、皆様から名前でも呼んでいただけるよう努めています。

2020年4月からは病院薬剤師が主人公のテレビドラマも始まるようです。本原稿執筆時点では、その詳細な内容まではわかりませんが、これを機に皆様がより病院薬剤師を身近に感じて頂けることを願っております。